

# 祝100歳 おめでとうございます！



## 小湊タミエさん (大塚南町)

■5月20日に100歳を迎えた小湊さん。90歳ごろまでソロパンを弾き、家計簿を付けていたそうです。好奇心が旺盛で、歌や踊りが大好きな小湊さんは、ときどき「馬方踊り」の唄を口ずさんでいるそうです。



## 新屋敷ツタエさん (宮前町)

■5月24日に100歳を迎えた新屋敷さん。「こんなに長生きできてうれしい。すべてのことに感謝しながら喜びを感じてこれからも前向きに生きていきたい」と話してくれました。



## 井上チミさん (東本町)

■6月1日に100歳を迎えた井上さん。エスポワール立神でたくさんの方から祝福をうけ、うれしそうにしていました。「腹をきらさんで、いつも笑って過ごすのが長生きの秘訣」と話してくれました。

## 枕崎の食材をPR

～「地産地消枕崎の夕べ」上柿元勝シェフを迎えて

■地産地消枕崎の夕べが5月29日、花渡川ピアハウスで開催され、約100名が地元食材による料理を堪能しました。当日は、フランス料理の普及・発展を目指す(財)日本エコフイ協会から上柿元勝理事のほか、8名の県内外の有名シェフが出席し、次々に出てくる枕崎の食材のすばらしさに感銘していました。

地産地消枕崎の夕べは今回が初めての開催。食材の面から観光客を呼ぶために何が必要かを模索しながら、今後も継続的に開催していく予定です。



## 元気な笑顔でおはら節

～東京枕崎会が渋谷・鹿児島おはら祭りに参加

■5月17日、東京渋谷にて「第12回渋谷・鹿児島おはら祭り」が開催されました。

この日は「渋谷109」を中心におはら祭りの約2,000名の踊り手が、それぞれの華やかな衣装に身を包み、車両通行止めの道玄坂・文化村通りを踊りながら練り歩く様子は、道路全体がうごめく錦絵のように圧巻でした。

沿道の観客の方々からも、かつお節の織に鹿児島弁で「枕崎かつお節きばいやんせ～」と声援をかけられたり、昔懐かしい旧友が顔を出してくれたり、思いがけない再会が多々ありました。

枕崎会踊り連は今年が10回目の参加ということで、初参加の立ち上げからご尽力いただいた方への感謝状授与や上手に踊っていた仲間への表彰など趣向を凝らしながらの打ち上げ会は大いに盛り上がり、今年のおはら祭りを踊り切った達成感を味わいながら、また来年も元気な笑顔での再会を誓い合い散会しました。



投稿



■小・中学校に「扇風機」  
市では、小・中学校の全普通教室に扇風機を設置しました。これは、良好な環境で義務教育を充実しようとするもので、昨年度から設置が始まり、本年度の6月下旬に当初計画した扇風機105機すべての設置が完了しました。写真は枕崎小学校1年生のクラス。これから迎える暑い夏より一層充実した教育成果が得られることが期待されます。



## かつお節を学びおいしく食べました

～桜山中学校職場体験学習

■桜山中学校3年生59名が6月9日、水産加工組合で職場体験学習を行い、本市の代表的な特産品であるかつお節について学びました。

同組合職員の指導のもと、まずビデオや資料でかつお節について詳しく学んだ後、味噌汁づくりに挑戦。削り器を使って悪戦苦闘しながら交代で削り、鍋からはみ出るほどたっぷりのかつお節でダシをとりました。また、自分たちでカツオの腹皮を焼き、味噌汁と一緒においしそうに食べていました。

# まちの話題



5月23日 妙見保育園



6月5日 立神保育園

かつお節 あいしいね  
枕崎青鯉会が園児へ食育活動  
■枕崎青鯉会(松野下泰会長)が4月から7月にかけて、市内園児への食育活動を行っています。枕崎青鯉会は、市内の鯉鯉製菓業者の若手が組織する会で、会員は33名。今回の活動は、枕崎鯉節のすばらしさを知ってもらい、かつお節の歴史と伝統を次世代に担う子どもたちに伝える目的で実施しています。かつお節削り器で削ったかつお節を茶節にして食べた園児たちからは、「おいしい」という声が上がっていました。



## 今、思うことを堂々と発表

～枕崎中学校弁論大会

■枕崎中学校弁論大会が6月18日、市民会館で開催され、市内中学校の代表9名と、特別参加の高校生2名が発表しました。

写真は最優秀賞に輝いた上久保 雄大くん(枕崎中2年)。「生き方の一步」という題で、テレビ番組で観た重い病気をもちながら、前向きな生き方をする少女と自分を照らし合わせ「生き方の一步を教えてもらった。大事なのは人の痛みをのわかる人間に成長すること」と力強く発表しました。